

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人: 税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

平成10年分路線価・大都市圏は下げ止まり傾向

Q: 平成10年分の路線価が公表されましたが、今年分の路線価の傾向を教えてください。

A: 全国平均の路線価は6年連続の下落となっています。

【解説】

路線価とは、主要道路に面した1㎡当たりの土地の評価額で、相続税や贈与税に係る土地評価の算定基準となります。毎年1月1日時点で、全国の国税局が約39万の標準地点を選定、売買実例価額や不動産鑑定士の意見なども参考に、国土庁が発表する公示地価の約8割を目安として算出します。

全国平均の平成10年分の路線価は、1㎡当たり17万円で前年より5.0%下がり6年連続の下落となっていますが、下落率自体は前年より3.3ポイント縮小しています。

圏域別にみると、東京圏34万2千円で下落率5.0%（昨年の下落率10.5%）、大阪圏28万4千円で下落率5.3%（同8.3%）、名古屋圏は13万6千円で下落率4.2%（同7.2%）となっています。三大都市圏以外の平均は8万5千円で下落率4.5%（同5.3%）でした。

路線価日本一は、13年連続して東京銀座の文具店・鳩居堂前で1,180万円、昨年より3.9%上がりました。

東京都中心部と川崎市麻生区内の計7地点で平成5年以降初めて、下落から上昇に転じています。

